

井手康人ら 2015. 愛知県安城市の水田におけるグリホサート低感受性ネズミムギの発生状況と防除法. 愛知農総試研報 47, 123-126.

市原実ら 2016. 静岡県内の水田周辺部におけるグリホサート抵抗性ネズミムギ (*Lolium multiflorum* Lam.) の分布. 雑草研究 61,17-20.

愛知県農業総合試験場 2007. 不耕起V溝直播栽培の手引き(改訂第4版). 農業の新

技術 No.74,33-34.

木田揚一・浅井元朗 2006. 夏期湛水条件がカラスムギおよびネズミムギ種子の生存に及ぼす影響. 雑草研究 51,87-90.

市原実ら 2009. コムギ-ダイズ連作圃場における外来雑草ネズミムギの埋土種子動態と出芽動態-耕起体系と不耕起体系の比較. 雑草研究 55,16-25.

平野亮ら 2000. 静岡県中遠地域の麦作におけるイタリアンライグラスの侵入状況と被

害の拡大原因. 雑草研究 45,154-155.

森崎耕平ら 2018a. 愛知県東三河地域のコムギ作圃場における播種前耕起と除草剤によるネズミムギの体系防除. 雑草研究 63,89-95.

森崎耕平ら 2018b. 愛知県内の水田におけるグリホサート抵抗性ネズミムギの発生実態. 愛知農総試研報 50,59-61.

田畑の草種 くさぐさ

数珠玉・唐麦 (ジュズダマ)

(公財)日本植物調節剤研究協会
兵庫試験地 須藤 健一

イネ科ジュズダマ属の一年草あるいは多年草。稲作とともに渡来したとされ、本州以南の溝や川辺で叢生する。背丈は1mから2m、夏から秋に直径5mm、長さ8mmほどの石のように固い苞葉をつける。この苞葉を集めて先に出ている雄小穂を引き抜き、「おじゃみ」に詰めたり、糸を通して輪にして数珠などを作ったりした。だから和名を「数珠玉」という。

一人の男がいた。彼は無垢な正しい人で神を畏れ、悪を避けて生きてきた。妻と七人の息子と三人の娘がいて裕福に暮らしていた。ある時悪魔が神に言った。「信心なんて恵まれているからするのであって、恵まれないものは信心なんかしない」「ならば試してみるがよい」。

悪魔はその男の財産を奪い、息子や娘もことごとく奪ってしまった。男は神に「なぜこのような試練を与えるのか」と尋ねるが神は答えず、さらには全身をひどい皮膚病に侵され妻からも見放されてしまった。

男は何度も、大粒の涙を流しながら(かどうかわかりませんが)、「どうしてこんな試練を私に与えるのですか」

と神に訴えるが神は何も答えてくれない。男はとうとう訴えるのをやめて黙ってしまった。…話は続き、最後には男は神から祝福を受けるのだが…。

その男の名前を「ヨブ(Job)」といい、旧約聖書「ヨブ記」の主人公。ジュズダマの学名を *Coix lacryma-jobi* というが、*lacryma* は「涙」、*jobi* は「ヨブの」。英語名を「Job's tears」という。

本邦では「数珠玉」として仏の前での崇敬の念の表徴として関係し、異邦では「Job's tears (ヨブの涙)」としてユダヤ教やキリスト教の信仰心に関わる。ジュズダマの育つところはなかなか無垢で崇高なところであるのかもしれない。

ところで、今60歳以上の方々には覚えがあるかと思うが、かつて水田利用再編対策の特定作物として「ハトムギ」が選定されたことがあった。ハトムギの品種選定や栽培法などの研究に精力を注ぎこまれたはずだが、ハトムギはジュズダマの変種である。